

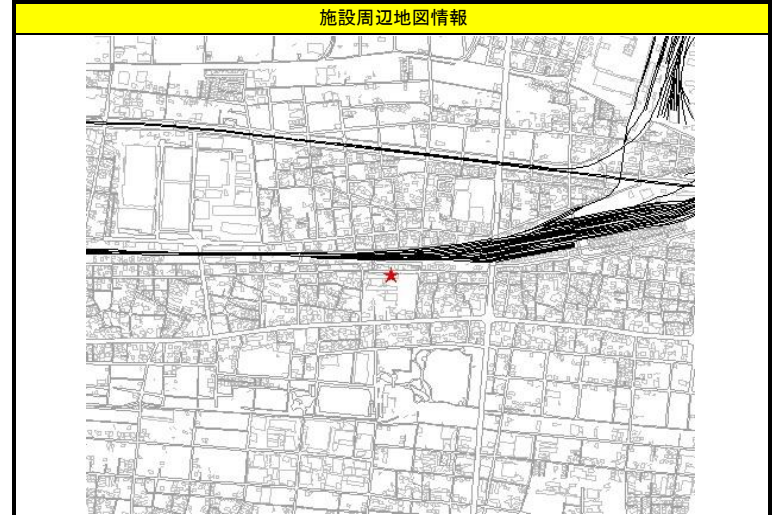
リストNo		15-051	施設コード		00383	
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校				
施設名		可美小学校				
所在(町名・番地)		中央区若林町1748				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		学校	
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。				
主な利用者		入学している児童・教職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物 情報	総延床面積	14,353.19		土地 情報	土地面積	19,940.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	18,758.00
	地上階数(主要建物)	4				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.85			うち借地面積	1,182.00
	耐震工事(主要建物)	有				
	建築年月日(主要建物)	1970/5/1				
	経過年数(主要建物)	53			代表地目(現況地目)	学校用地
用途地域		第一種住居地域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		1,159,060	—		1,159,060	
財源	国・県	52,720	—		52,720	
	寄付金	—	—		—	
	その他	—	—		—	
	市債	—	—		—	
	一般財源	1,106,340	—		1,106,340	
特記事項	—					



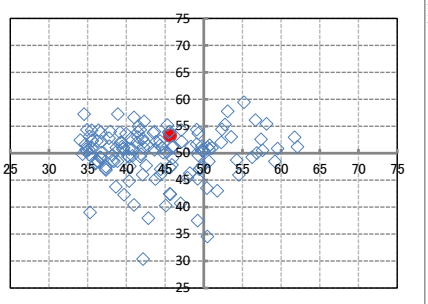
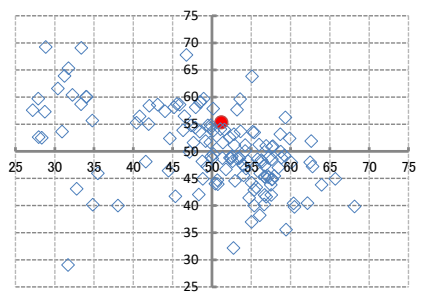
項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12	18	18
	収入計（A）	12	18	18
支出（千円）	人件費	306,800	299,200	293,600
	物件費（委託料）	2,472	2,672	2,513
	維持補修費（修繕費）	5,609	3,973	1,306
	物件費（光熱水費）	13,700	14,405	12,714
	物件費（借地料）	1,559	1,559	1,559
	支出計（B）	330,140	321,809	311,692
	行政コスト（B－A）	330,128	321,791	311,674
収支前年比		102.59	103.25	1271.46
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		33,807	33,807	19,771
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	28	27	27
生徒数	748	728	738	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	647,393	1,319,465	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	校舎改築工事(第2期)	946,672			
2021	校舎改築工事(第1期)	1,274,185			
2016	屋内消火栓配管改修工事	10,800			
2014	体育館他1校吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	31,940			
2014	吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	10,530			
2012	屋上避難施設設置工事	11,441			

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	15-125	可美中学校	生活	0.5
	15-126	新津中学校	生活	0.9
	15-052	新津小学校	生活	1.0
	15-045	入野小学校	生活	1.3
	15-016	佐鳴台小学校	生活	1.8
	15-099	佐鳴台中学校	生活	1.9
	15-014	鴨江小学校	生活	1.9
その他の分類	07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	0.0
	08-041	可美幼稚園	生活	0.1
	10-010	ふれあい交流センター可美	地域	0.2
	05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域	0.3
	03-049	可美協働センター	生活	0.6
	08-018	可美保育園	生活	0.7
	14-063	浜松第41分団	コミュニティ	0.9
	01-032	可美市民サービスセンター	生活	0.9



基本情報	リストNo	15-051	施設コード	00383	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	可美小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	42	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	2		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	課題なし							
	対応策	令和2年度改築工事実施(南校舎西及び東校舎西)。その他の施設についても、浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を活用したプールの在り方について検討を実施。								

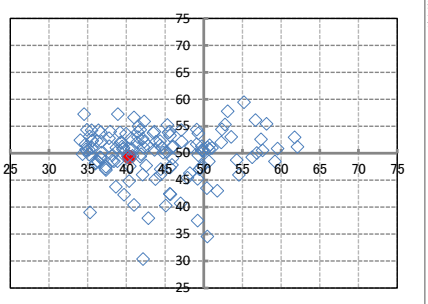
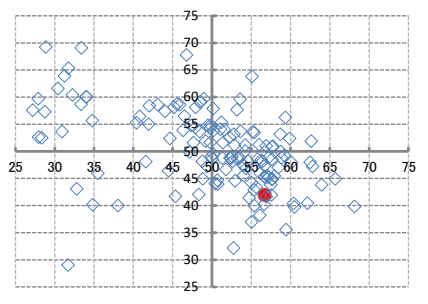
参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	23,000	22,419	21,715	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は増加傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo		15-052		施設コード		01439		
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校						
施設名		新津小学校						
所在（町名・番地）		中央区新橋町777						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		学校		
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
	施設	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
設置根拠（法）		—						
条例		—						
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。						
主な利用者		入学している児童・教職員						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	6,745.74		土地情報	土地面積	20,218.00		
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	20,218.00		
	地上階数（主要建物）	4				うち借地面積	0.00	
	耐震性能（1st値）（主要建物）	1.22					代表地目（現況地目）	学校用地
	耐震工事（主要建物）	有			学校用地			
	建築年月日（主要建物）	1979/6/1						
	経過年数（主要建物）	44						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計		
設置事業費		447,480		—		447,480		
財源	国・県	101,798		—		101,798		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	345,682		—		345,682		
特記事項	—							

				
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	17	17	17
	収入計(A)	17	17	17
支出 (千円)	人件費	316,800	307,600	307,600
	物件費(委託料)	1,345	1,885	2,194
	維持補修費(修繕費)	11,539	9,216	8,974
	物件費(光熱水費)	8,121	8,889	9,568
	物件費(借地利料)	0	0	0
	支出計(B)	337,805	327,590	328,336
行政コスト(B-A)		337,788	327,573	328,319
収支前年比		103.12	99.77	1550.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		9,310	10,836	10,836
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	28	28	27
	生徒数	672	681	684
B・S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	258,849	23,881	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	令和3年度浜松市立新津小学校校舎管理棟等空調設備更新工事(新津小)	9,142	2012	屋上避難施設設置工事	31,413
	2018	校庭貯留施設整備工事	4,141	2010	校舎南棟耐震補強工事	125,805
	2014	校舎(北、南)棟外壁改修工事	34,592	2010	校舎南棟耐震補強工事(機械設備工事)	8,775
	2013	プール付属棟改築及びろ過機改修工事	19,803			
	2013	プール付属棟改築及びろ過機改修工事(機械設備工事)	10,777			
	2013	校舎南棟屋上防水改修工事	4,830			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	15-126	新津中学校	生活		0.2	
	15-051	可美小学校	生活		1.0	
	15-125	可美中学校	生活		1.2	
その他の分類	07-042	なかよし第2放課後児童会	生活		0.0	
	03-048	新津協働センター	生活		0.4	
	08-018	可美保育園	生活		0.4	
	01-032	可美市民サービスセンター	生活		0.6	
	14-063	浜松第41分団	コミュニティ		0.7	
	14-061	浜松第19分団	コミュニティ		0.7	
	05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域		0.9	
07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活		1.0		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	15-052	施設コード	01439	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	新津小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	42	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	4		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①			2023	—	—	—
				2022	—	—	—	—	
				2021	—	—	—	—	
事業②					2023	—	—	—	—
					2022	—	—	—	—
					2021	—	—	—	—
事業③					2023	—	—	—	—
					2022	—	—	—	—
					2021	—	—	—	—
事業④					2023	—	—	—	—
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築46年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	50,074	48,560	48,671	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

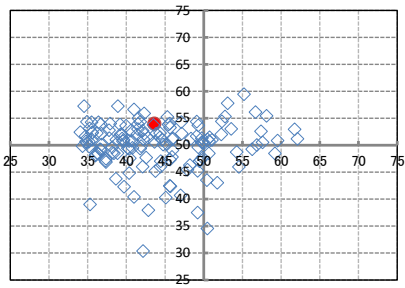
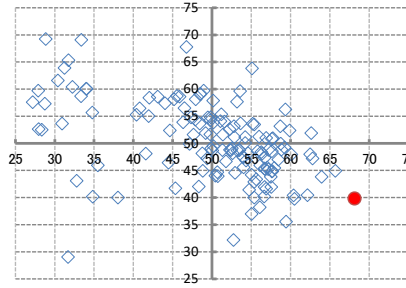
リストNo		15-053	施設コード		02256	
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校				
施設名		白脇小学校				
所在（町名・番地）		中央区寺脇町431-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		学校
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
設置根拠（法）		—				
条例		—				
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。				
主な利用者		入学している児童・教職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	6,917.27		土地情報	土地面積	13,916.00
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	13,916.00
	地上階数（主要建物）	3				
	耐震性能（Isg値）（主要建物）	1.14				
	耐震工事（主要建物）	有			うち借地面積	0.00
	建築年月日（主要建物）	1964/3/1				
	経過年数（主要建物）	60				
用途地域		第一種住居地域				
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計
設置事業費		1,011,810		—		1,011,810
財源	国・県	290,055		—		290,055
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	461,600		—		461,600
	一般財源	260,155		—		260,155
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	13	13	13
	収入計（A）	13	13	13
支出（千円）	人件費	361,000	343,000	343,000
	物件費（委託料）	1,792	1,839	2,134
	維持補修費（修繕費）	2,861	9,258	5,071
	物件費（光熱水費）	11,011	11,595	10,541
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	376,664	365,692	360,746
行政コスト（B－A）		376,651	365,679	360,733
収支前年比		103.00	101.37	1607.90
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		15,209	15,209	15,209
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	32	32	32
	生徒数	984	999	992
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	277,474	356,916	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	令和3年度 給食室空調設備更新工事	4,950	2015	体育館屋外倉庫建替工事	8,869
	2018	運動場拡張工事	40,365	2012	屋上避難施設設置工事	21,001
	2016	体育館屋上防水工事	8,661	2010	太陽光発電設備設置工事(電気設備工事)	13,966
	2015	北校舎改築工事(建築工事)	422,280	2010	太陽光発電設備設置工事(建築工事)	10,353
	2015	北校舎改築工事(機械設備工事)	67,143			
	2015	北校舎改築工事(電気設備工事)	45,686			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別		距離(km)
	15-105	南部中学校		生活		1.5
	15-098	江西中学校		生活		1.8
	15-009	竜禅寺小学校		生活		1.8
その他の分類	07-045	しらわき放課後児童会		生活		0.0
	08-042	白脇幼稚園		生活		0.2
	03-047	白脇協働センター		生活		0.2
	14-017	南消防署白脇出張所・浜松第13分団		地域		0.4
	26-001	中部浄化センター		—		1.2
	24-025	寺脇排水機場		—		1.3
	24-027	中田島排水機場		—		1.3
	13-015	法枝団地		地域		1.4
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	15-053	施設コード	02256	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	白脇小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	49	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	5	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
			事業①	2023	—	—	—		
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業②			2023	—	—	—			
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業③			2023	—	—	—			
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業④			2023	—	—	—			
2022	—	—	—						
2021	—	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築61年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	平成27年度改築工事実施(北校舎西)。その他の施設についても、浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	54,451	52,865	52,150	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間/ウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
近年児童数は増加傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行い、計画的な改修を実施する。									

リストNo		15-054		施設コード		02295	
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校					
施設名		飯田小学校					
所在(町名・番地)		中央区飯田町594					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		学校	
所管課	本庁	学校教育部教育施設課				課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課				課長名	山本 治之
設置根拠(法)		—					
条例		—					
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。					
主な利用者		入学している児童・教職員					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	6,052.00		土地情報	土地面積	14,458.14	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造					
	地上階数(主要建物)	4			うち所有面積	3,805.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.19					
	耐震工事(主要建物)	有			うち借地面積	10,653.14	
	建築年月日(主要建物)	1970/3/1					
	経過年数(主要建物)	54					
用途地域		第一種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		594,750		—		594,750	
財源	国・県	126,860		—		126,860	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	467,890		—		467,890	
特記事項	—						



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	9	9
	収入計(A)	9	9
	人件費	234,800	213,800
支出(千円)	物件費(委託料)	1,315	1,779
	維持補修費(修繕費)	14,393	5,726
	物件費(光熱水費)	9,157	10,363
	物件費(借地料)	18,078	18,078
	支出計(B)	277,743	249,746
行政コスト(B-A)		277,734	249,737
収支前年比		111.21	99.95
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		6,023	8,224
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	24	22
	生徒数	588	588
	600		
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	104,388	33,826	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	令和4年度 受変電設備改修工事	29,690	2006	校舎増築工事	45,990
2022	令和4年度浜松市立飯田小学校校舎北棟外壁改修工事(国庫小)	15,041	2006	校舎南棟耐震補強工事	44,835
2019	浜松市立飯田小学校校舎北棟外壁改修工事	44,117			
2017	校舎南棟・北棟	4,639			
2011	テレビ電波障害対策施設撤去工事	7,349			
2008	校舎北棟耐震補強工事	40,520			
近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
	15-127	東部中学校	生活	0.4	
	15-056	芳川北小学校	生活	1.5	
	15-128	南陽中学校	生活	1.6	
	15-055	芳川小学校	生活	1.7	
	15-028	蒲小学校	生活	1.9	
その他の分類	07-039	いなほ放課後児童会	生活	0.0	
	08-043	飯田幼稚園	生活	0.3	
	03-044	東部協働センター体育館	生活	0.3	
	13-047	飯田団地	地域	0.4	
	14-016	浜松第27分団	地域	0.5	
	12-004	中央卸売市場	広域	1.1	
	17-006	緑化推進センター	地域	1.1	
	23-125	天竜川駅自由通路	地域	1.3	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	15-054	施設コード	02295	所管課	本庁	学校教育部教育施設課				
	施設名	飯田小学校			施設	学校教育部教育施設課					
	人員数	正規職員(人)	32	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	3			
	複合施設	—									
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成									
	設置の妥当性	設置目的(再掲)									
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。									
		主な業務内容	小学校教育								
		主な利用者	入学している児童・教職員								
		設置目的の継続性・妥当性									
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				地域の児童が通う小学校としてニーズがある。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				地域の児童が通う小学校として必要。					
	特記事項				—						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
									のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—					2023	—	—	—
								2022	—	—	—
								2021	—	—	—
		事業②	—					2023	—	—	—
								2022	—	—	—
								2021	—	—	—
事業③		—					2023	—	—	—	
							2022	—	—	—	
					2021	—	—	—			
事業④	—					2023	—	—	—		
						2022	—	—	—		
						2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)											
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築55年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。									
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。									
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄					
		廃止	—	—	—	—					
		民間移管	—	—	—	—					
		管理主体変更	—	—	—	—					
		代替サービス	—	—	—	—					
		統廃合	—	○	—	—					
		複合化	—	○	—	—					
	広域化	—	—	—	—						
民生導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。										

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	45,891	41,265	41,287	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況・前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタメモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。						
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。								

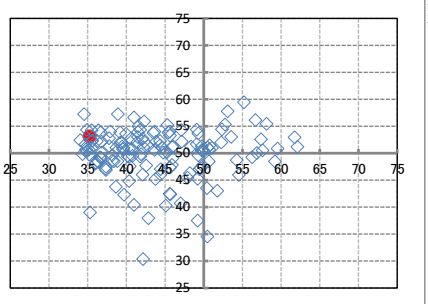
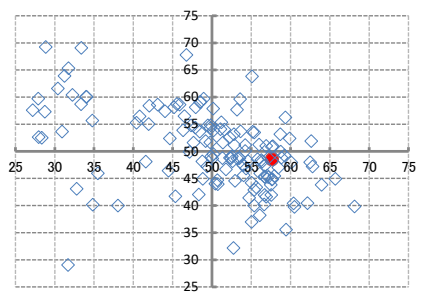
リストNo		15-055		施設コード		02576		
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校						
施設名		芳川小学校						
所在（町名・番地）		中央区芳川町13-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		学校		
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
	施設	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
設置根拠（法）		—						
条例		—						
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。						
主な利用者		入学している児童・教職員						
運営形態		直営						
指定管理または包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	6,171.00		土地情報	土地面積	17,356.95		
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	15,891.30		
	地上階数（主要建物）	4				うち借地面積	1,465.65	
	耐震性能（Isg値）（主要建物）	1.28						
	耐震工事（主要建物）	有						
	建築年月日（主要建物）	1965/3/1						
	経過年数（主要建物）	59			代表地目（現況地目）	学校用地		
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計		
設置事業費		625,370		—		625,370		
財源	国・県	47,081		—		47,081		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	578,289		—		578,289		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	32	32	32
	収入計(A)	32	32	32
支出 (千円)	人件費	258,600	273,200	276,000
	物件費(委託料)	1,286	2,694	2,375
	維持補修費(修繕費)	7,619	7,731	4,009
	物件費(光熱水費)	7,990	8,891	7,601
	物件費(借地料)	2,804	2,804	2,804
	支出計(B)	278,299	295,320	292,789
行政コスト(B-A)		278,267	295,288	292,757
収支前年比		94.24	100.86	113.88
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		3,460	3,460	5,254
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	24	25	25
	生徒数	612	637	628
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,006,860	6,649	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	令和3年度 浜松市立河輪小学校他1校受電設備改修工事(芳川小)	27,270	2007	校舎東棟便所改修工事	14,858
	2019	浜松市立芳川小学校校舎屋根改修工事	19,072			
	2016	給食室給水管改修工事	5,925			
	2011	外壁改修工事	10,194			
	2008	校舎給水管改修工事(機械設備工事)	19,110			
	2008	校舎給水管改修工事(建築工事)	11,126			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	15-128	南陽中学校	生活		0.2	
	15-056	芳川北小学校	生活		0.9	
	15-127	東部中学校	生活		1.3	
	15-124	東陽中学校	生活		1.6	
	15-022	相生小学校	生活		1.6	
	15-054	飯田小学校	生活		1.7	
その他の分類	07-076	さなえ放課後児童会	生活		0.1	
	07-043	さなえ第2放課後児童会	生活		0.1	
	08-044	芳川幼稚園	生活		0.2	
	14-062	浜松第26分団	コミュニティ		0.2	
	26-037	参野雨水ポンプ場	—		0.4	
	07-046	芳北小放課後児童会	生活		0.9	
	14-018	南消防署芳川出張所	地域		0.9	
14-016	浜松第27分団	地域		1.2		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	15-055	施設コード	02576	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	芳川小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	35	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	3		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
				—		2022	—	—	—
—				2021	—	—	—		
事業②			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築60年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	45,093	47,851	47,441	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。								

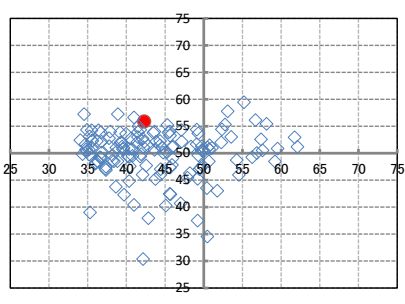
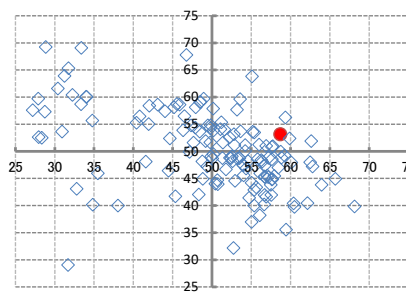
リストNo		15-056	施設コード		02578
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校			
施設名		芳川北小学校			
所在（町名・番地）		中央区頭陀寺町1046-1			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産		学校
所管課	本庁	学校教育部教育施設課		課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課		課長名	山本 治之
設置根拠（法）		—			
条例		—			
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。			
主な利用者		入学している児童・教職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	6,333.02	土地情報	土地面積	20,081.00
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	20,081.00
	地上階数（主要建物）	4			
	耐震性能（Is値）（主要建物）	1.19			
	耐震工事（主要建物）	有		うち借地面積	0.00
	建築年月日（主要建物）	1979/5/1			
	経過年数（主要建物）	44			
用途地域		第二種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計	
設置事業費		263,520	—	263,520	
財源	国・県	26,830	—	26,830	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	236,690	—	236,690	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	85	85	85
	収入計(A)	85	85	85
	人件費	213,800	237,400	237,400
支出(千円)	物件費(委託料)	1,773	1,866	2,190
	維持補修費(修繕費)	9,636	1,784	5,260
	物件費(光熱水費)	7,387	8,899	8,197
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	232,596	249,949	253,047
行政コスト(B-A)		232,511	249,864	252,962
収支前年比		93.06	98.78	945.51
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		13,141	13,141	13,141
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	21	21	22
	生徒数	592	576	574
	有形固定資産(千円)			
B S 情報	土地	建物	その他	
	1,405,697	23,132	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2017	管理諸室空調設備改修工事	8,391	2010	(南棟)耐震補強工事(機械設備工事)	6,144
	2017	渡り廊下改修工事	4,107	2007	体育館器具庫改築工事	6,668
	2015	校舎(北棟・南棟)・体育館・渡り廊下 外壁及び屋上防水改修工事	49,042			
	2012	埋設給水管改修工事	5,477			
	2010	(南棟)耐震補強工事(建築工事)	146,960			
	2010	校舎北棟耐震補強工事	45,403			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別		距離(km)
	15-128	南陽中学校		生活		0.7
	15-022	相生小学校		生活		0.8
	15-055	芳川小学校		生活		0.9
	15-127	東部中学校		生活		1.3
	15-054	飯田小学校		生活		1.5
	15-009	竜禅寺小学校		生活		1.7
その他の分類	07-046	芳北小放課後児童会		生活		0.0
	07-011	若竹第2放課後児童会		生活		0.7
	08-044	芳川幼稚園		生活		0.8
	07-043	さなえ第2放課後児童会		生活		0.8
	07-076	さなえ放課後児童会		生活		0.8
	26-037	参野雨水ポンプ場		—		0.9
	14-062	浜松第26分団		コミュニティ		1.1
	14-016	浜松第27分団		地域		1.2
	施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	15-056	施設コード	02578	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	芳川北小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	29	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	3	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
			事業①	2023	—	—	—		
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業②			2023	—	—	—			
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業③			2023	—	—	—			
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業④			2023	—	—	—			
2022	—	—	—						
2021	—	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築45年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	36,714	39,454	39,943	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo		15-057		施設コード		04279		
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校						
施設名		南の星小学校						
所在（町名・番地）		中央区西島町						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		学校		
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
	施設	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
設置根拠（法）		—						
条例		—						
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。						
主な利用者		入学している児童・教職員						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	7,648.12		土地情報	土地面積	18,418.25		
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	18,418.25		
	地上階数（主要建物）	4				うち借地面積	0.00	
	耐震性能（1st値）（主要建物）	新					代表地目（現況地目）	学校用地
	耐震工事（主要建物）	—						
	建築年月日（主要建物）	2011/1/31						
	経過年数（主要建物）	13						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計		
設置事業費		1,753,796		227,000		1,980,796		
財源	国・県	675,803		—		675,803		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	634,700		227,000		861,700		
	一般財源	443,293		—		443,293		
特記事項	—							

項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計(A)	3	3	3
支出 (千円)	人件費	171,000	181,400	185,000
	物件費(委託料)	2,001	1,936	2,276
	維持補修費(修繕費)	3,465	2,392	1,973
	物件費(光熱水費)	9,234	11,205	8,861
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	185,700	196,933	198,110
行政コスト(B-A)		185,697	196,930	198,107
収支前年比		94.30	99.41	886.23
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		38,339	38,339	38,339
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	13	14	15
	生徒数	254	285	311
B/S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	191,103	1,239,904	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2010	新校建設工事(建築工事)	1,480,500			
	2010	新校建設工事(機械設備工事)	261,764			
	2010	新校建設工事(電気設備工事)	177,450			
	2010	体育器具設置工事	13,472			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	15-123	江南中学校	生活		1.4	
	15-049	河輪小学校	生活		2.0	
そ の 他 の 分 類	08-045	南の星幼稚園	生活		0.0	
	07-044	南の星放課後児童会	生活		0.0	
	03-046	五島協働センター	生活		0.1	
	14-059	浜松第17分団	コミュニティ		0.6	
	13-044	遠州浜団地	地域		1.0	
	13-042	遠州浜団地福祉住宅	地域		1.0	
	24-024	御給排水機場	—		1.4	
	05-015	江之島アーチェリー場	地域		1.5	
施設周辺地図情報						
						

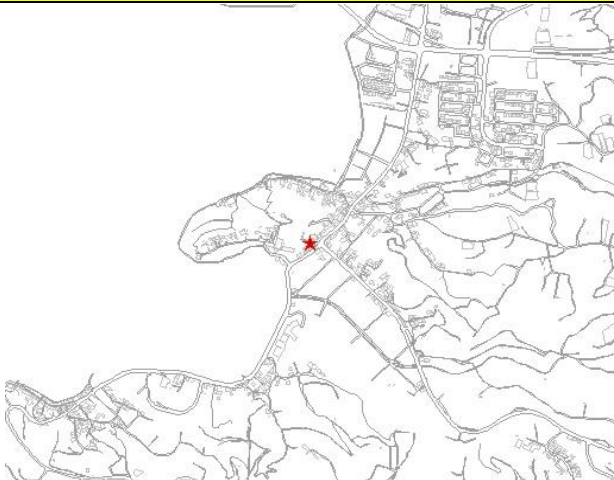
基本情報	リストNo	15-057	施設コード	04279	所管課	本庁	学校教育部教育施設課			
	施設名	南の星小学校			施設	学校教育部教育施設課				
	人員数	正規職員(人)	23	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。								
		主な業務内容	小学校教育							
		主な利用者	入学している児童・教職員							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域の児童が通う小学校として必要。						
	特記事項		—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—				2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
		事業②	—				2023	—	—	—
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築14年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	○	—				
		複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。									

	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
参考指標	行政コスト/面積(円)	24,280	25,749	25,903	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点の施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。</p> <p>今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。</p> <p>一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタメモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。							

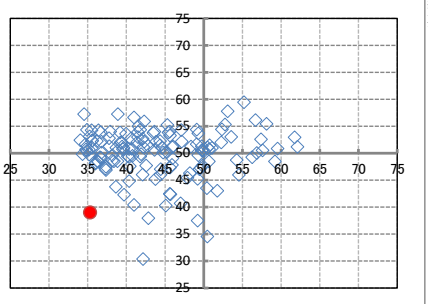
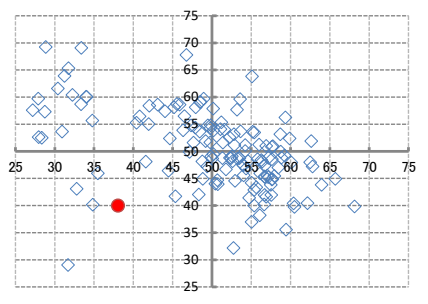
リストNo		15-058	施設コード		00208
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校			
施設名		伊目小学校			
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀3241			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産		学校
所管課	本庁	学校教育部教育施設課		課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課		課長名	山本 治之
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。			
主な利用者		入学している児童・教職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	2,634.00	土地情報	土地面積	8,909.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	8,909.00
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.71			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1980/3/1			
	経過年数(主要建物)	44		うち借地面積	0.00
			代表地目(現況地目)	学校用地	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		578,290	—	578,290	
財源	国・県	86,962	—	86,962	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	491,328	—	491,328	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12	12	12
	収入計(A)	12	12	12
支出(千円)	人件費	117,000	103,000	94,600
	物件費(委託料)	1,292	1,255	1,441
	維持補修費(修繕費)	840	2,692	1,876
	物件費(光熱水費)	4,146	4,379	3,483
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	123,278	111,326	101,400
行政コスト(B-A)		123,266	111,314	101,388
収支前年比		110.74	109.79	637.82
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		17,534	22,136	22,136
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	6	6	6
	生徒数	79	100	113
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	90,847	20,486	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	令和4年度浜松市立東葉小学校他4校管理棟室等空調設備更新工事(伊豆小)	7,310			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	07-048	伊目放課後児童会	生活		0.0	
	08-047	伊目幼稚園	生活		0.1	
	26-017	細江浄化センター	—		1.0	
	24-038	三和第2排水機場	—		1.2	
	20-007	静ヶ谷排水処理施設	地域		1.5	
	26-021	山後雨水ポンプ場	—		1.6	
	24-039	沖通り排水機場	—		1.7	
施設周辺地図情報						
						

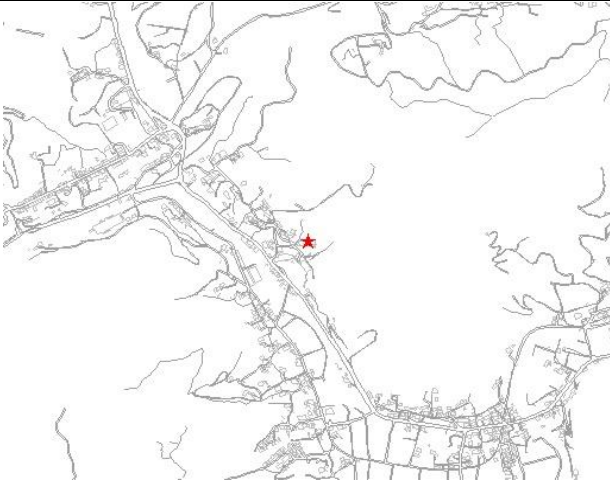
基本情報	リストNo	15-058	施設コード	00208	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	伊目小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	15	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	1		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
			事業①	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業②			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④			2023	—	—	—			
	2022	—	—	—					
	2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築45年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新経費も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を活用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	46,798	42,260	38,492	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。								

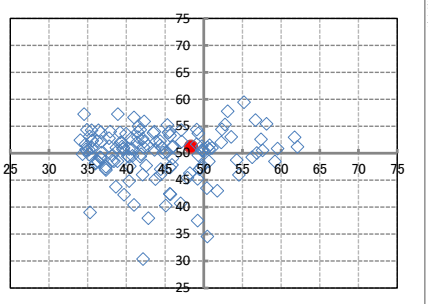
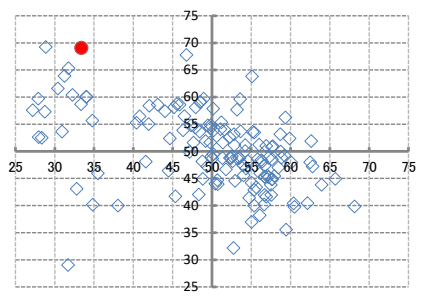
リストNo		15-059		施設コード		00327	
利利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校					
施設名		奥山小学校					
所在（町名・番地）		浜名区引佐町奥山1063-1					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		学校	
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之
設置根拠（法）		—					
条例		—					
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。					
主な利用者		入学している児童・教職員					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	4,488.00		土地情報	土地面積	11,781.00	
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	11,781.00	
	地上階数（主要建物）	4					
	耐震性能（Ise値）（主要建物）	新					
	耐震工事（主要建物）	—					
	建築年月日（主要建物）	1987/10/1					
	経過年数（主要建物）	36			うち借地面積	0.00	
				代表地目（現況地目）		学校用地	
用途地域		都市計画区域外					
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		746,680		—		746,680	
財源	国・県	253,753		—		253,753	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	492,927		—		492,927	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6	6	6
	収入計(A)	6	6	6
支出 (千円)	人件費	73,800	87,600	90,400
	物件費(委託料)	2,253	2,280	2,389
	維持補修費(修繕費)	3,010	11,673	3,952
	物件費(光熱水費)	3,082	3,470	2,604
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	82,145	105,023	99,345
行政コスト(BーA)		82,139	105,017	99,339
収支前年比		78.21	105.72	432.93
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		23,374	23,374	23,374
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	6	7	7
	生徒数	61	62	66
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	120,806	204,710		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	令和3年度 プール改修工事	14,221			
	2014	吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	16,523			
	2008	体育館耐震補強工事	18,480			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	08-049	奥山幼稚園	生活		0.0	
	05-034	奥山体育センター	生活		0.5	
	14-074	引佐第2分団尾沢	コミュニティ		0.5	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	15-059	施設コード	00327	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	奥山小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	9	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	3	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築37年が経過し、施設・設備の改修も必要になってきている。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を活用したプールの在り方について検討を実施。”								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	18,302	23,400	22,134	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。								

リストNo		15-060	施設コード		00610	
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校				
施設名		金指小学校				
所在(町名・番地)		浜名区引佐町金指1364-3				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		学校	
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。				
主な利用者		入学している児童・教職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	2,823.00		土地情報	土地面積	9,075.54
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	3,095.00
	地上階数(主要建物)	3				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.92				
	耐震工事(主要建物)	有			うち借地面積	5,980.54
	建築年月日(主要建物)	1970/3/1				
	経過年数(主要建物)	54				
用途地域		第一種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		422,400		—		422,400
財源	国・県	103,965		—		103,965
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	318,435		—		318,435
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	98,000	94,600	97,400
	物件費(委託料)	979	923	1,170
	維持補修費(修繕費)	6,572	3,620	5,400
	物件費(光熱水費)	3,368	3,739	3,319
	物件費(借地料)	2,015	2,015	2,015
	支出計(B)	110,934	104,897	109,304
行政コスト(B-A)		110,934	104,897	109,304
収支前年比		105.76	95.97	507.82
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		4,948	4,948	4,948
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	7	7	7
	生徒数	73	80	76
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	54,145	31,940	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2018	南棟外壁改修工事	16,344			
	2017	プールろ過配管改修工事	9,529			
	2015	体育館外壁改修工事	11,871			
	2014	吊り天井体育館及び武道場非構造部材の耐震化工事	43,752			
	2006	プール水槽他塗装替工事	2,646			
	2006	校渡り廊下塗装替工事	2,573			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	15-066	井伊谷小学校	生活	1.3
	15-071	中川小学校	生活	1.4
その他の分類	13-049	金指団地	地域	0.3
	07-054	金指放課後児童会	生活	0.3
	25-005	金指西水源	—	0.3
	08-058	金指幼稚園	生活	0.5
	26-020	金指汚水中継ポンプ場	—	0.5
	13-052	坂田団地	地域	0.5
	26-018	井伊谷浄化センター	—	0.7
	25-013	谷津ポンプ場	—	0.7



基本情報	リストNo	15-060	施設コード	00610	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	金指小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	14	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	—	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業②			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築55年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	39,296	37,158	38,719	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年の児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo		15-061	施設コード		00996
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校			
施設名		三ヶ日東小学校			
所在(町名・番地)		浜名区三ヶ日町都筑2266-2			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産		学校
所管課	本庁	学校教育部教育施設課		課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課		課長名	山本 治之
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。			
主な利用者		入学している児童・教職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	4,340.00	土地情報	土地面積	15,151.80
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	14,805.30
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.82			
	耐震工事(主要建物)	有		うち借地面積	346.50
	建築年月日(主要建物)	1964/3/1			
	経過年数(主要建物)	60			
用途地域		第一種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		310,050	—	310,050	
財源	国・県	34,612	—	34,612	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	275,438	—	275,438	
特記事項	—				



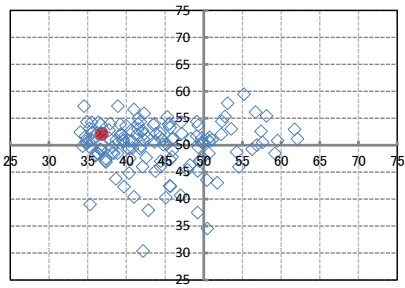
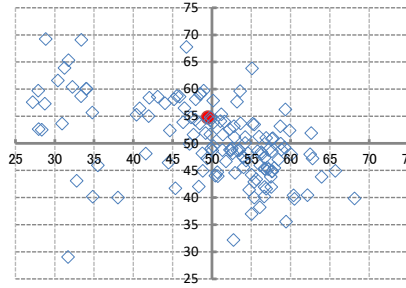
項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	11	17
	収入計(A)	11	17
支出(千円)	人件費	106,400	106,400
	物件費(委託料)	1,053	981
	維持補修費(修繕費)	2,991	3,532
	物件費(光熱水費)	5,838	5,601
	物件費(借地料)	65	65
	支出計(B)	116,347	116,579
行政コスト(B-A)		116,336	116,562
収支前年比		99.81	109.60
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		1,123	2,439
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	7	7
	生徒数	185	195
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	326,787	2,624	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	令和3年度浜北市立東宮小学校校地管理修繕費等要綱設備更新工事(2ヶ日東小)	3,603			
2017	下水道切替工事	35,790			
2012	屋上防水改修工事	11,777			
2010	屋内消火栓設備改修工事	9,651			
2009	体育館床改修工事	30,030			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	07-056	三ヶ日東放課後児童会	生活	0.1
	14-082	三ヶ日第4分団	コミュニティ	0.2
	08-022	都筑保育園	生活	0.7
	05-016	三ヶ日B&G海洋センター	地域	1.1



基本情報	リストNo	15-061	施設コード	00996	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	三ヶ日東小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	14	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①			2023	—	—	—
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④					2023	—	—	—	
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築61年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	26,806	26,858	24,505	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
		利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。						
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年の児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

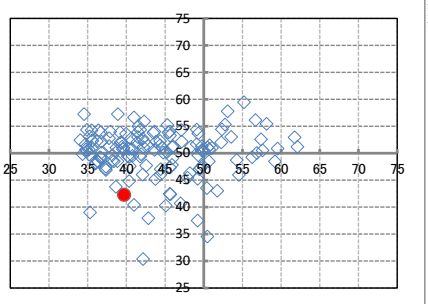
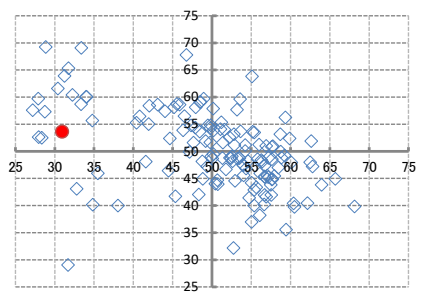
リストNo		15-062		施設コード		01561		
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校						
施設名		西気賀小学校						
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀9994-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		学校		
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之		
	施設	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之		
設置根拠(法)		—						
条例		—						
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。						
主な利用者		入学している児童・教職員						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	3,443.00		土地情報	土地面積	5,800.73		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造				うち所有面積	5,800.73	
	地上階数(主要建物)	2						
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.05						
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積			
	建築年月日(主要建物)	1981/3/1						
	経過年数(主要建物)	43						
					代表地目(現況地目)		学校用地	
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		647,530		—		647,530		
財源	国・県	68,279		—		68,279		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	579,251		—		579,251		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6	6	6
	収入計(A)	6	6	6
支出 (千円)	人件費	72,800	66,000	63,200
	物件費(委託料)	1,140	1,206	1,345
	維持補修費(修繕費)	1,967	3,904	3,541
	物件費(光熱水費)	2,953	3,063	2,696
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	78,860	74,173	70,782
行政コスト(BーA)		78,854	74,167	70,776
収支前年比		106.32	104.79	491.06
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		9,128	12,372	16,265
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	4	4	4
	生徒数	31	34	36
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	64,455	27,782	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	令和4年度浜松市立西気賀小学校他3校管理運営等整備施設整備工事(西気賀小)	6,859	2010	太陽光発電設備設置工事(建築工事)	4,858
	2019	浜松市立西気賀小学校体育館外壁及び屋根改修工事	12,036			
	2017	体育館耐震補強工事	45,196			
	2014	体育館非構造部材耐震化工事	3,398			
	2010	特別教室棟耐震補強工事	24,561			
	2010	太陽光発電設備設置工事(電気設備工事)	14,404			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	08-052	西気賀幼稚園	生活		0.2	
	24-039	沖通り排水機場	—		1.0	
	26-017	細江浄化センター	—		2.0	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	15-062	施設コード	01561	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	西気賀小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	10	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—		
	複合施設	西気賀放課後児童クラブ							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。						
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①			2023	—	—	—
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④					2023	—	—	—	
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築44年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
		浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
		複合化	—	○	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	22,903	21,541	20,556	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年の児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo	15-063	施設コード	02039
利用用途別分類(施設分類)	小中学校・高等学校		
施設名	都田小学校		
所在(町名・番地)	浜名区都田町5609-2		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	学校
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。		
主な利用者	入学している児童・教職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	3,566.00	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	4	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.23	
	耐震工事(主要建物)	有	
	建築年月日(主要建物)	1979/12/1	
	経過年数(主要建物)	44	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	320,760	320,760
	国・県	84,021	84,021
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	236,739	236,739
特記事項	—		



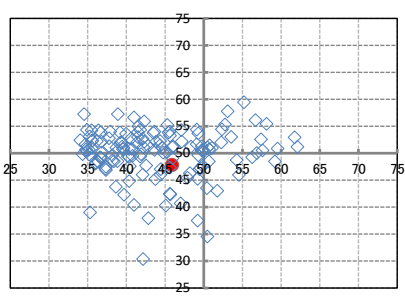
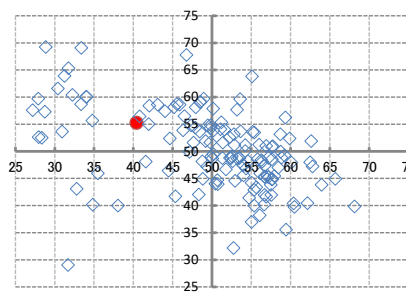
項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	15	15
	収入計(A)	15	15
支出(千円)	人件費	80,600	84,000
	物件費(委託料)	905	1,404
	維持補修費(修繕費)	5,825	2,184
	物件費(光熱水費)	4,048	3,868
	物件費(借地利)	0	0
	支出計(B)	91,378	91,456
行政コスト(B-A)		91,363	91,441
収支前年比		99.91	95.55
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		9,911	9,911
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	6	6
	生徒数	101	99
	93		
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	34,016	86,908	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	令和4年度 給食室等空調設備更新工事	10,590	2010	校舎西棟耐震補強工事(建築工事)	102,178
2019	空調設備整備事業	22,723	2010	校舎西棟耐震補強工事(機械設備工事)	8,030
2017	給食調理室改修工事	10,760	2007	校舎増築工事(建築工事)	94,185
2016	給食室改修工事	19,502	2007	校舎増築工事(電気設備工事)	14,595
2015	校舎西棟屋上防水改修工事	13,983	2007	校舎増築工事(機械設備工事)	6,279
2011	外壁改修工事	12,267			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-132	都田中学校	生活	0.7
その他の分類	03-051	都田協働センター	生活
	14-066	浜松第31分団	コミュニティ
	26-026	都田地区農業集落排水処理施設	—
	26-034	都田中継ポンプ場	—
	24-032	吉影排水機場	—
	17-007	都田総合公園	地域
	24-031	一色排水機場	—
	20-010	引佐最終処分場	地域
			2.0



基本情報	リストNo	15-063	施設コード	02039	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	都田小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	11	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	1	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—	—	
—				2021	—	—	—	—	
事業②			—		2023	—	—	—	—
			—		2022	—	—	—	—
			—		2021	—	—	—	—
事業③			—		2023	—	—	—	—
			—		2022	—	—	—	—
			—		2021	—	—	—	—
事業④			—		2023	—	—	—	—
	—		2022	—	—	—	—		
	—		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築45年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	25,621	25,642	26,836	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo		15-064		施設コード		02305		
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校						
施設名		尾奈小学校						
所在(町名・番地)		浜名区三ヶ日町下尾奈1480						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		学校		
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之		
	施設	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之		
設置根拠(法)		—						
条例		—						
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。						
主な利用者		入学している児童・教職員						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	2,363.00		土地情報	土地面積	4,683.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	3,841.00		
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	842.00		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			代表地目(現況地目)		学校用地	
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	1982/2/1						
	経過年数(主要建物)	42						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		349,530		—		349,530		
財源	国・県	80,140		—		80,140		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	269,390		—		269,390		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計（A）	3	3	3
支出（千円）	人件費	85,400	78,400	70,000
	物件費（委託料）	1,214	1,228	1,781
	維持補修費（修繕費）	3,701	1,812	1,849
	物件費（光熱水費）	2,881	3,131	2,831
	物件費（借地料）	975	99	99
	支出計（B）	94,171	84,670	76,560
	行政コスト（B－A）	94,168	84,667	76,557
	収支前年比	111.22	110.59	405.26
	（参考）指定管理料	0	0	0
	（参考）減価償却費	11,792	11,792	11,839
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	5	5	5
	生徒数	42	41	40
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	88,629	51,916	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	令和3年度浜松市立三ヶ日西小学校地区管理棟等空調設備更新工事(廃止中)	6,525			
2014	管理教室棟屋上防水改修工事	4,968			
2007	体育館耐震補強工事	20,790			
2007	体育館落下物対策工事	3,948			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
同分類				
その他の分類	08-056	尾奈幼稚園	生活	0.1



基本情報	リストNo	15-064	施設コード	02305	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	尾奈小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	11	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。						
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
2021				—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築43年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	39,851	35,830	32,398	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo	15-065	施設コード	02492
利用用途別分類(施設分類)	小中学校・高等学校		
施設名	平山小学校		
所在(町名・番地)	浜名区三ヶ日町平山200		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	学校
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。		
主な利用者	入学している児童・教職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	2,290.00	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.60	
	耐震工事(主要建物)	有	
	建築年月日(主要建物)	1958/4/1	
	経過年数(主要建物)	66	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	479,020	479,020
	国・県	66,478	66,478
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	412,542	412,542
特記事項	—		



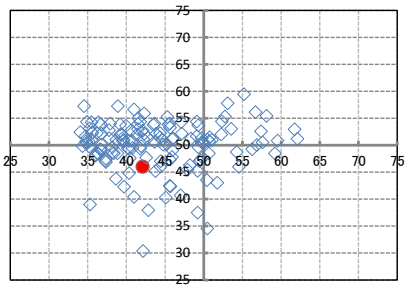
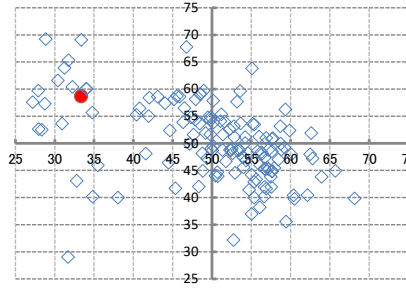
項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	18	21
	収入計(A)	18	21
支出(千円)	人件費	68,000	82,000
	物件費(委託料)	1,331	1,290
	維持補修費(修繕費)	3,852	3,690
	物件費(光熱水費)	3,811	4,058
	物件費(借地料)	115	345
	支出計(B)	77,109	91,383
行政コスト(B-A)		77,091	91,362
収支前年比		84.38	107.75
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		13,525	13,525
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	4	5
	生徒数	38	41
	5	45	
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	432,952	36,063	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	令和4年度浜名市立三ヶ日西小学校地中管理棟等空調設備更新工事(平山小)	3,008			
2015	校舎棟外壁改修工事	14,663			
2009	特別教室棟耐震補強工事	39,489			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
同分類				
その他の分類	08-061	平山幼稚園	生活	0.1
	14-083	三ヶ日第2分団	コミュニティ	1.4
	04-022	みかんの里資料館	地域	1.9
	13-059	摩訶耶団地	地域	2.0



基本情報	リストNo	15-065	施設コード	02492	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	平山小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	8	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	1		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業②			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築45年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	33,664	39,896	37,025	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年の児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

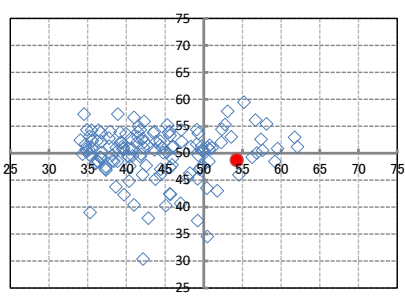
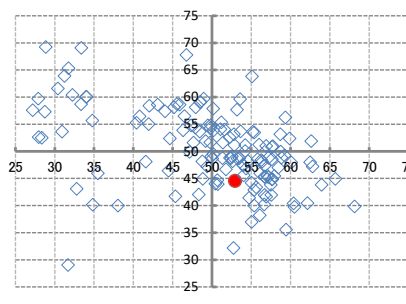
リストNo		15-066		施設コード		00216		
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校						
施設名		井伊谷小学校						
所在（町名・番地）		浜名区引佐町井伊谷680						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		学校		
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
	施設	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
設置根拠（法）		—						
条例		—						
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。						
主な利用者		入学している児童・教職員						
運営形態		直営						
指定管理または包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	5,697.34		土地情報	土地面積	16,948.84		
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート一部鉄骨造			うち所有面積	16,628.47		
	地上階数（主要建物）	3				うち借地面積	320.37	
	耐震性能（1g値）（主要建物）	新						
	耐震工事（主要建物）	—						
	建築年月日（主要建物）	2016/8/25						
	経過年数（主要建物）	7			代表地目（現況地目）		学校用地	
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計		
設置事業費		309,262		—		309,262		
財源	国・県	113,460		—		113,460		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	195,802		—		195,802		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6	6	6
	収入計（A）	6	6	6
支出（千円）	人件費	213,800	182,200	185,000
	物件費（委託料）	1,827	1,719	1,949
	維持補修費（修繕費）	1,871	15,417	1,009
	物件費（光熱水費）	7,285	7,549	5,386
	物件費（借地料）	179	179	179
	支出計（B）	224,962	207,064	193,523
行政コスト（B－A）		224,956	207,058	193,517
収支前年比		108.64	107.00	1152.57
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		27,023	27,023	27,023
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	18	19	18
	生徒数	432	457	441
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	282,523	662,623	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	浜松市立井伊谷小学校南棟外壁改修工事	15,287	2007	体育館耐震補強工事	22,781
	2018	防球ネット復旧工事	4,428	2007	屋上防水改修工事	6,300
	2017	校舎南棟屋根防水工事	2,553	2007	体育館落下物対策工事	5,712
	2016	北校舎改築工事(機械設備工事)	83,508			
	2016	北校舎改築工事(電気設備工事)	73,150			
	2016	北校舎改築工事(建築)	568,992			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別		距離(km)
	15-135	引佐南部中学校		生活		0.9
	15-060	金指小学校		生活		1.3
その他の分類	08-019	引佐保育園		生活		0.1
	08-048	引佐幼稚園		生活		0.1
	07-052	井伊谷放課後児童会		生活		0.2
	06-013	引佐図書館		地域		0.3
	13-060	井伊谷団地		地域		0.3
	01-019	引佐支所		地域		0.3
	14-072	引佐第1分団井伊谷		コミュニティ		0.3
	03-014	引佐多目的研修センター		地域		0.3
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	15-066	施設コード	00216	所管課	本庁	学校教育部教育施設課			
	施設名	井伊谷小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課			
	人員数	正規職員(人)	29	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	3		
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。								
		主な業務内容	小学校教育							
		主な利用者	入学している児童・教職員							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況			
							のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—			2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業②		—			2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③		—			2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④		—			2023	—	—	—		
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築8年が経過し、施設・設備の修繕箇所も多くなっている。								
	対応策	平成28年度改築工事実施(北校舎)。その他の施設についても、浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を活用したプールの在り方について検討を実施。”									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	39,484	36,343	33,966	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間/ウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ、適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo		15-067	施設コード		00481	
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校				
施設名		気賀小学校				
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀929				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		学校	
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。				
主な利用者		入学している児童・教職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	8,770.00		土地情報	土地面積	18,841.65
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	18,841.65
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.87			うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	有				
	建築年月日(主要建物)	1972/2/1				
	経過年数(主要建物)	52			代表地目(現況地目)	学校用地
用途地域		第二種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		1,761,950		—		1,761,950
財源	国・県	119,512		—		119,512
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	1,642,438		—		1,642,438
特記事項	—					



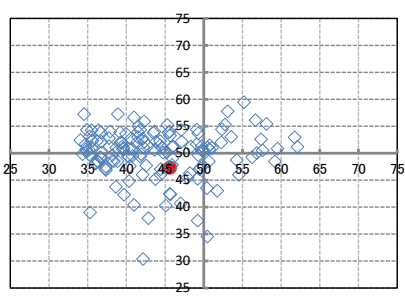
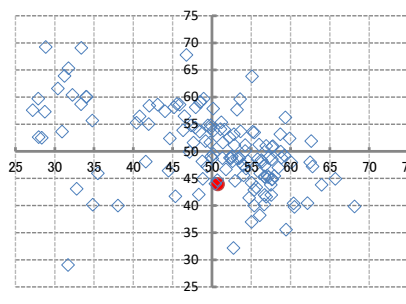
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	21	21	21
	収入計(A)	21	21	21
支出(千円)	人件費	254,400	233,400	230,600
	物件費(委託料)	1,908	2,052	2,229
	維持補修費(修繕費)	25,081	5,235	3,161
	物件費(光熱水費)	11,263	11,416	8,877
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	292,652	252,103	244,867
行政コスト(B-A)		292,631	252,082	244,846
収支前年比		116.09	102.96	1079.90
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		45,878	51,356	51,356
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	21	21	21
	生徒数	517	514	526
	有形固定資産(千円)			
B S 情報	土地	建物	その他	
	202,825	503,826	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	中校舎小規模改修工事(屋根他)	20,274	2014	防球ネット及びブールフェンス改修工事	6,048
	2022	令和4年度浜名区立気賀小学校他4校管理棟等空調設備更新工事(気賀小)	8,958	2012	外壁改修工事	15,554
	2018	渡り廊下ブロック壁改修工事	12,679	2011	テレビ電波障害対策施設撤去工事	4,457
	2016	屋上防水工事	6,100	2007	幼児・児童言語教室開設工事	17,325
	2015	給食室空調設備改修工事	5,292	2007	プール塗装改修工事	3,150
	2014	体育館他4校非構造部材落下防止対策工事	39,297	2006	北校舎鋼製建具改修工事	23,100

近隣施設				
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	15-129	細江中学校	生活	0.8
そ の 他 の 分 類	04-021	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域	0.2
	04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域	0.4
	14-067	細江中央分団	コミュニティ	0.4
	24-034	広岡排水機場	—	0.5
	03-012	みをつくし文化センター	地域	0.5
	08-053	中央幼稚園	生活	0.6
	01-017	北行政センター	地域	0.6
	09-006	細江健康センター	地域	0.6



基本情報	リストNo	15-067	施設コード	00481	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	気賀小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	34	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	3		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業②			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築53年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	33,367	28,744	27,919	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は若干減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

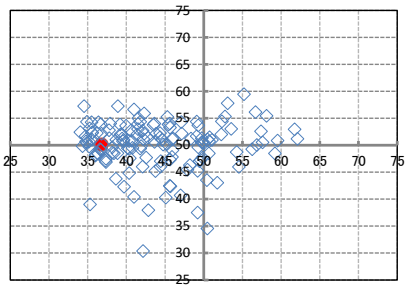
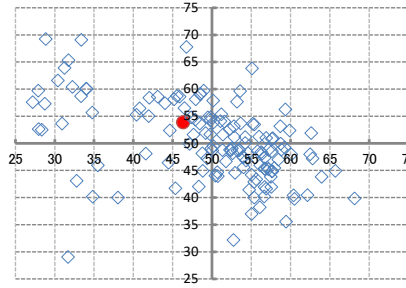
リストNo		15-068		施設コード		00972			
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校							
施設名		三ヶ日西小学校							
所在（町名・番地）		浜名区三ヶ日町三ヶ日301-1							
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域				
財産区分		行政財産		公共用財産		学校			
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之		
	施設	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之		
設置根拠（法）		—							
条例		—							
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
主な利用者		入学している児童・教職員							
運営形態		直営							
指定管理または包括管理委託等の期間		～							
管理者名		—							
開館時間		—							
建物情報	総延床面積	6,843.00		土地情報	土地面積	29,462.77			
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	29,462.77			
	地上階数（主要建物）	3				うち借地面積	0.00		
	耐震性能（1st値）（主要建物）	1.12					代表地目（現況地目）	学校用地	
	耐震工事（主要建物）	有			学校用地				
	建築年月日（主要建物）	1955/12/1				学校用地			
	経過年数（主要建物）	68						学校用地	
用途地域		第一種中高層住居専用地域							
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計			
設置事業費		455,670		—		455,670			
財源	国・県	79,199		—		79,199			
	寄付金	—		—		—			
	その他	—		—		—			
	市債	—		—		—			
	一般財源	376,471		—		376,471			
特記事項	—								



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	45	44	44
	収入計（A）	45	44	44
支出（千円）	人件費	143,600	140,200	143,000
	物件費（委託料）	1,314	1,234	1,359
	維持補修費（修繕費）	10,055	6,454	1,926
	物件費（光熱水費）	8,593	8,266	6,583
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	163,562	156,154	152,868
行政コスト（B－A）		163,517	156,110	152,824
収支前年比		104.74	102.15	728.64
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		6,683	6,683	6,683
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	13	13	13
	生徒数	288	313	325
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	679,833	47,015	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	令和2年度高松市立二ツ谷小学校地内管理用庭園電気設備更新工事(二ツ谷小)	5,019	2010	太陽光発電設備設置工事(建築工事)	15,132
	2018	給水配管改修工事	25,120	2010	太陽光発電設備設置工事(電気設備工事)	14,366
	2017	いのはな館解体工事	7,614	2006	下水道切替工事	7,560
	2017	体育館換気設備設置工事	10,858			
	2013	校舎棟外壁改修工事	26,562			
	2012	体育館屋根防水改修工事	9,503			
近隣施設						
同分類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
	15-130	三ヶ日中学校			生活	1.2
その他の分類	13-057	大苗代団地			地域	0.3
	05-019	三ヶ日弓道場			地域	0.3
	13-055	小深田団地			地域	0.4
	21-003	三ヶ日斎場			地域	0.4
	08-020	三ヶ日保育園			生活	0.4
	14-081	三ヶ日第1分団			コミュニティ	0.5
	06-014	三ヶ日図書館			地域	0.5
	13-059	摩訶耶団地			地域	0.6
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	15-068	施設コード	00972	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	三ヶ日西小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	20	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	1	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業②			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築69年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	23,896	22,813	22,333	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

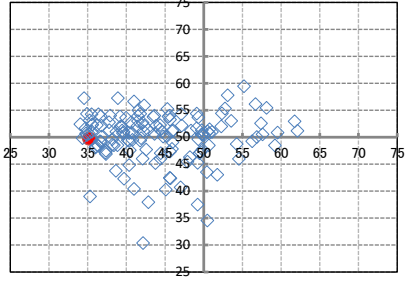
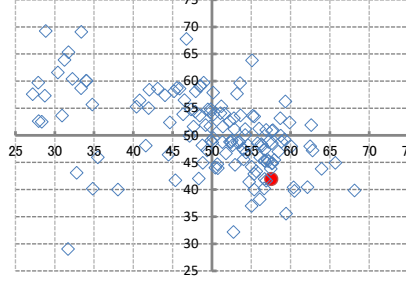
リストNo	15-069	施設コード	01012
利用用途別分類(施設分類)	小中学校・高等学校		
施設名	三方原小学校		
所在(町名・番地)	中央区三方原町682		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	学校
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。		
主な利用者	入学している児童・教職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	6,365.12	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.28	
	耐震工事(主要建物)	有	
	建築年月日(主要建物)	1965/3/1	
	経過年数(主要建物)	59	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	500,190	500,190
	国・県	73,675	73,675
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	426,515	426,515
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	36	36
	収入計(A)	36	36
	人件費	290,800	280,200
支出(千円)	物件費(委託料)	2,842	4,388
	維持補修費(修繕費)	12,498	8,246
	物件費(光熱水費)	10,686	13,329
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	316,826	306,163
行政コスト(B-A)		316,790	306,127
収支前年比		103.48	100.41
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		3,606	5,725
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	31	29
	生徒数	705	726
	生徒数	705	726
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	250,291	9,463	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	令和4年度 受変電設備改修工事	26,177	2009	北・東棟屋上防水改修工事	9,345
2023	令和4年度 給食室等空調設備更新工事	13,131	2008	体育器具庫改築工事	5,514
2019	空調設備整備事業	92,207	2007	便所改修・下水道切替工事	28,350
2017	校舎南棟・給食棟屋根防水工事	10,250	2007	便所改修工事	12,327
2017	管理諸室空調設備改修工事	6,546			
2010	校舎南棟耐震補強工事	108,707			
近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
	15-133	北星中学校	生活	1.1	
	15-012	葵西小学校	生活	1.1	
	15-073	豊岡小学校	生活	1.2	
	15-131	三方原中学校	生活	1.4	
	15-011	葵が丘小学校	生活	1.7	
	15-070	初生小学校	生活	1.8	
その他の分類	15-019	瑞穂小学校	生活	1.9	
	07-072	みかた放課後児童会	生活	0.0	
	14-064	浜松第29分団	コミュニティ	0.2	
	03-098	三方原会館	コミュニティ	0.4	
	08-050	三方原幼稚園	生活	0.4	
	14-021	中消防署曳馬野出張所	地域	0.6	
	13-002	葵西四丁目団地	地域	0.7	
	03-050	三方原協働センター	生活	0.8	
	03-068	葵西会館	コミュニティ	0.9	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	15-069	施設コード	01012	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	三方原小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	40	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	3	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築60年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	49,770	48,094	47,899	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。								

リストNo		15-070	施設コード		01227	
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校				
施設名		初生小学校				
所在(町名・番地)		中央区初生町1001-2				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		学校	
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。				
主な利用者		入学している児童・教職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	5,912.10		土地情報	土地面積	19,549.00
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造				
	地上階数(主要建物)	4			うち所有面積	19,549.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.20				
	耐震工事(主要建物)	有			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1981/3/1				
	経過年数(主要建物)	43				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		859,425		—		859,425
財源	国・県	123,027		—		123,027
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	134,800		—		134,800
	一般財源	601,598		—		601,598
特記事項	—					



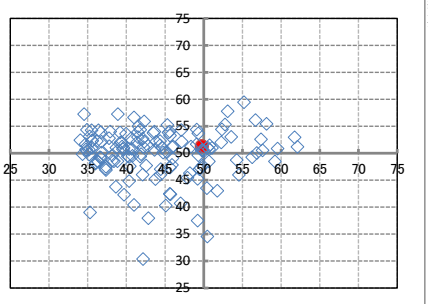
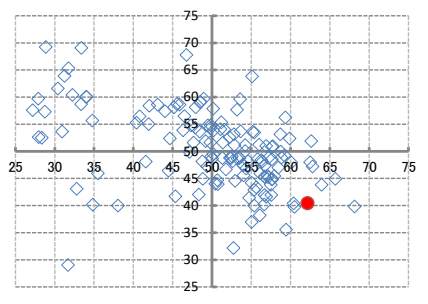
項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	107	107
	収入計(A)	107	107
	人件費	286,800	293,800
支出(千円)	物件費(委託料)	2,350	2,259
	維持補修費(修繕費)	18,906	4,147
	物件費(光熱水費)	12,912	14,484
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	320,968	314,690
行政コスト(B-A)	320,861	314,583	310,512
収支前年比	102.00	101.31	1261.63
(参考)指定管理料	0	0	0
(参考)減価償却費	19,594	19,594	19,594
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	30	31
BS情報	生徒数	760	767
	有形固定資産(千円)	565,637	199,150
	土地	建物	その他

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	給食室空調設備更新工事	7,370	2013	校舎棟屋上防水改修工事	9,345
2017	管理諸室空調設備改修工事	11,673	2010	校舎棟耐震補強工事(建築工事)	130,733
2015	校舎増築工事(建築工事)	185,306	2010	校舎棟耐震補強工事(機械設備工事)	6,420
2015	校舎増築工事(機械設備工事)・屋外給水管改修工事	25,658			
2015	校舎増築工事(電気設備工事)	12,065			
2014	校舎改修工事	27,301			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-133	北星中学校	生活	1.2
15-011	葵が丘小学校	生活	1.3
15-012	葵西小学校	生活	1.6
15-069	三方原小学校	生活	1.8
その他の分類	07-049	はつおい放課後児童会	生活 0.0
	08-051	初生幼稚園	生活 0.2
	01-013	北部収集窓口センター	地域 0.7
	08-021	三方原保育園	生活 0.7
	01-020	中央土木整備事務所(三方原)	地域 0.8
	05-038	半田山グラウンドトイレ	小規模等 0.8
	13-054	初生団地	地域 1.0
	16-005	教育センター	市域 1.1



基本情報	リストNo	15-070	施設コード	01227	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	初生小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	38	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	5		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—			2023	—	—	
						2022	—	—	
						2021	—	—	
事業②		—			2023	—	—		
					2022	—	—		
					2021	—	—		
事業③		—			2023	—	—		
					2022	—	—		
					2021	—	—		
事業④		—			2023	—	—		
				2022	—	—			
				2021	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築44年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	平成27年度増築工事実施(東校舎)。その他の施設についても、浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

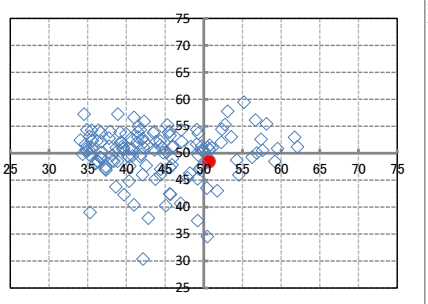
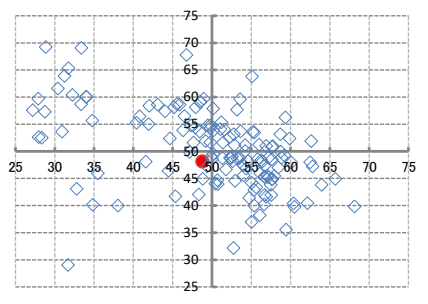
参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	54,272	53,210	52,521	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間/ウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo		15-071		施設コード		01889		
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校						
施設名		中川小学校						
所在（町名・番地）		浜名区細江町中川2553						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		学校		
所管課	本庁	学校教育部署施設課			課長名		山本 治之	
	施設	学校教育部署施設課			課長名		山本 治之	
設置根拠（法）		—						
条例		—						
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。						
主な利用者		入学している児童・教職員						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	7,037.00		土地情報	土地面積	17,911.00		
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	17,911.00		
	地上階数（主要建物）	4				うち借地面積	0.00	
	耐震性能（1st値）（主要建物）	新					代表地目（現況地目）	学校用地
	耐震工事（主要建物）	—						
	建築年月日（主要建物）	1982/3/1						
	経過年数（主要建物）	42						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計		
設置事業費		1,036,240		—		1,036,240		
財源	国・県	221,679		—		221,679		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	814,561		—		814,561		
特記事項	—							

				
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	47	47	47
	収入計(A)	47	47	47
支出 (千円)	人件費	178,000	153,400	153,400
	物件費(委託料)	3,241	2,905	3,293
	維持補修費(修繕費)	4,059	6,696	5,004
	物件費(光熱水費)	9,854	9,661	7,440
	物件費(借地利料)	0	0	0
	支出計(B)	195,154	172,662	169,137
行政コスト(B-A)		195,107	172,615	169,090
収支前年比		113.03	102.08	693.36
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		42,754	42,754	42,754
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	15	15	14
	生徒数	356	330	332
B/S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	159,971	469,607	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	体育館外壁・屋根改修工事	25,604	2009	体育館耐震補強工事(その1)	26,775
	2019	浄化槽修繕工事	9,882	2009	体育館耐震補強工事(その2)	18,455
	2017	管理諸室空調設備改修工事	4,365	2008	南校舎改築工事(建築工事)	390,600
	2015	中校舎棟外壁改修工事	16,039	2008	南校舎改築工事(電気設備工事)	64,575
	2015	給食室空調設備改修工事	6,912	2008	中校舎改修及び渡り廊下・外構工事	34,947
	2015	東校舎棟屋上防水改修工事	4,082			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	15-060	金指小学校	生活		1.4	
その他の分類	07-050	中川放課後児童会	生活		0.1	
	08-054	中川幼稚園	生活		0.1	
	05-017	細江総合体育センター体育館	地域		0.2	
	14-070	細江第5分団	コミュニティ		0.3	
	05-040	細江総合グラウンド器具庫	小規模等		0.3	
	13-050	刑部団地	地域		0.7	
	24-036	祝田排水機場	—		0.7	
	26-020	金指汚水口中継ポンプ場	—		0.9	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	15-071	施設コード	01889	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	中川小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	24	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築43年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	27,726	24,530	24,029	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	近年児童数は若干減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。								

リストNo		15-072		施設コード		02046			
利用用途別分類(施設分類)		小中学校・高等学校							
施設名		都田南小学校							
所在(町名・番地)		浜名区都田町8756							
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域				
財産区分		行政財産		公共用財産		学校			
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之			
	施設	学校教育部教育施設課			課長名	山本 治之			
設置根拠(法)		—							
条例		—							
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
主な利用者		入学している児童・教職員							
運営形態		直営							
指定管理または 包括管理委託等の期間		～							
管理者名		—							
開館時間		—							
建物情報	総延床面積	7,607.00		土地情報	土地面積	34,198.51			
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造				うち所有面積	34,198.51		
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積		0.00		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	学校用地	
	耐震工事(主要建物)	-						学校用地	
	建築年月日(主要建物)	1982/5/1							
	経過年数(主要建物)	41							
用途地域		市街化調整区域							
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計			
設置事業費		1,024,180		—		1,024,180			
財源	国・県	556,267		—		556,267			
	寄付金	—		—		—			
	その他	—		—		—			
	市債	106,400		—		106,400			
	一般財源	361,513		—		361,513			
特記事項	—								



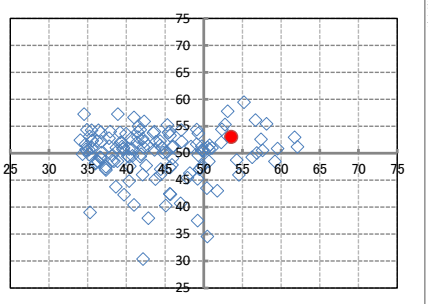
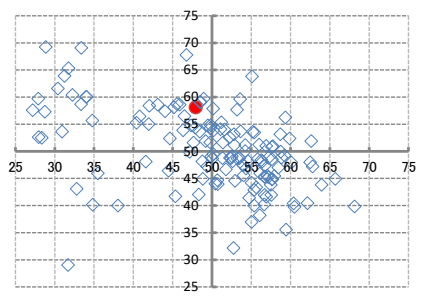
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	120	120	120
	収入計(A)	120	120	120
支出(千円)	人件費	168,200	171,600	174,400
	物件費(委託料)	2,900	3,334	3,213
	維持補修費(修繕費)	2,877	6,126	4,991
	物件費(光熱水費)	7,015	7,914	6,169
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	180,992	188,974	188,773
行政コスト(B-A)		180,872	188,854	188,653
収支前年比		95.77	100.11	954.87
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		30,348	30,348	30,348
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	16	17	16
	生徒数	368	374	380
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	92,639	357,583	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	令和4年度 給食室等空調設備更新工事	8,589			
	2022	給食室空調設備更新工事	6,600			
	2019	浜松市立都田南小学校南棟外壁改修工事	17,369			
	2019	空調設備整備事業	46,546			
	2016	給食室改修工事	19,502			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	06-018	都田図書館	地域	0.1
	07-051	ひばり放課後児童会	生活	0.2
	03-106	市民音楽ホール	市域	0.6
	01-031	新都市市民サービスセンター	生活	0.6
	17-007	都田総合公園	地域	0.8
	26-034	都田中継ポンプ場	—	1.0



基本情報	リストNo	15-072	施設コード	02046	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	都田南小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	23	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	2	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
			事業①	2023	—	—	—		
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業②			2023	—	—	—			
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業③			2023	—	—	—			
2022			—	—	—				
2021			—	—	—				
事業④			2023	—	—	—			
2022	—	—	—						
2021	—	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築27年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	○	—			
	複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	23,777	24,826	24,800	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	近年児童数は若干減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。								

リストNo	15-073	施設コード	02584
利用用途別分類(施設分類)	小中学校・高等学校		
施設名	豊岡小学校		
所在(町名・番地)	中央区豊岡町22-1		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	学校
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
	施設	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。		
主な利用者	入学している児童・教職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	6,119.91	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	4	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.25	
	耐震工事(主要建物)	有	
	建築年月日(主要建物)	1970/6/1	
	経過年数(主要建物)	53	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	483,200	—	483,200
財源	国・県	192,212	192,212
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	290,988	290,988
特記事項	—		



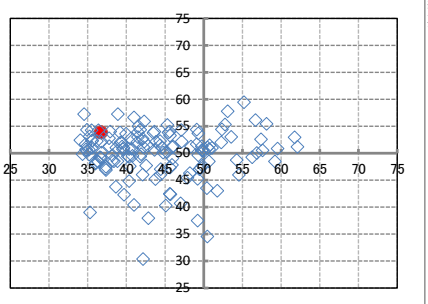
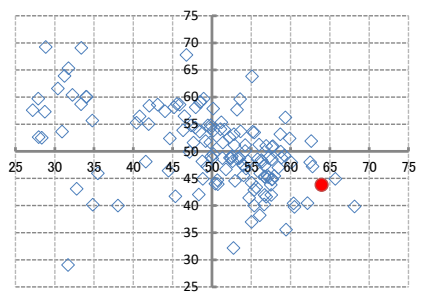
項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	19	19
	収入計(A)	19	19
支出(千円)	人件費	273,400	270,000
	物件費(委託料)	2,742	4,558
	維持補修費(修繕費)	8,168	6,096
	物件費(光熱水費)	11,171	12,146
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	295,481	292,800
行政コスト(B-A)		295,462	292,781
収支前年比		100.92	99.09
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		12,862	12,862
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	27	28
	生徒数	769	784
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	384,653	23,622	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	令和4年度 給食室等空調設備更新工事	10,416	2015	校舎北棟外壁改修工事(工事)	16,127
2021	令和3年度 浜松市立豊岡小学校南棟トイレ増設工事	14,978	2013	屋外トイレ改築工事	5,248
2019	空調設備整備事業	71,770	2012	雑庫改築工事	5,670
2018	南棟外壁改修工事	28,595	2010	(北棟)耐震補強工事(建築工事)	54,464
2018	北棟屋根防水工事	5,567	2010	(北棟)耐震補強工事(機械設備工事)	9,135
2018	南棟屋根防水工事	13,734	2008	校給水管改修工事	4,428

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-131	三方原中学校	生活	0.2
15-069	三方原小学校	生活	1.2
同分類			
その他の分類	08-057	豊岡幼稚園	生活 0.0
	07-053	とよおか放課後児童会	生活 0.1
	13-058	豊岡団地	地域 0.2
	03-050	三方原協働センター	生活 0.5
	16-005	教育センター	市域 1.0
	14-065	浜松第30分団	コミュニティ 1.1
	14-021	中消防署曳馬野出張所	地域 1.2
	14-064	浜松第29分団	コミュニティ 1.2



基本情報	リストNo	15-073	施設コード	02584	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	豊岡小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	37	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	4	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業②			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築55年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

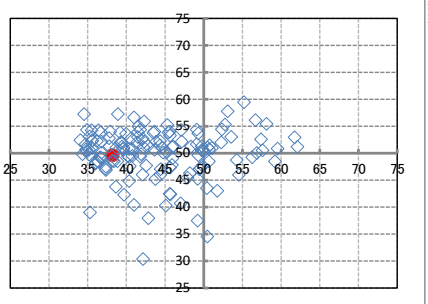
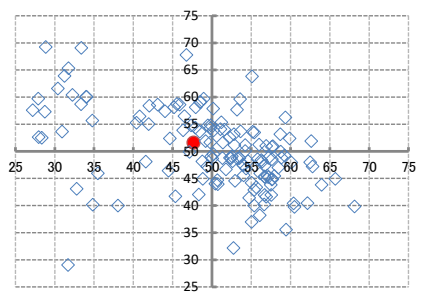
参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	48,279	47,841	48,282	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。 今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。 一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
近年児童数は減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。									

リストNo		15-074		施設コード		02636		
利用用途別分類（施設分類）		小中学校・高等学校						
施設名		北浜東小学校						
所在（町名・番地）		浜名区善地1546-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		学校		
所管課	本庁	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
	施設	学校教育部教育施設課			課長名		山本 治之	
設置根拠（法）		—						
条例		—						
設置目的		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。						
主な利用者		入学している児童・教職員						
運営形態		直営						
指定管理または包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	4,306.99		土地情報	土地面積	21,627.00		
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	21,627.00		
	地上階数（主要建物）	2				うち借地面積	0.00	
	耐震性能（Isg値）（主要建物）	0.87					代表地目（現況地目）	学校用地
	耐震工事（主要建物）	—						
	建築年月日（主要建物）	1981/3/1						
	経過年数（主要建物）	43						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計		
設置事業費		398,700		—		398,700		
財源	国・県	160,298		—		160,298		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	238,402		—		238,402		
特記事項	—							

				
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	69	69	69
	収入計(A)	69	69	69
支出 (千円)	人件費	118,400	115,600	118,400
	物件費(委託料)	2,290	2,092	2,330
	維持補修費(修繕費)	4,154	2,426	5,888
	物件費(光熱水費)	3,750	4,134	3,550
	物件費(借地利料)	0	0	0
	支出計(B)	128,594	124,252	130,168
行政コスト(B-A)		128,525	124,183	130,099
収支前年比		103.50	95.45	610.54
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		11,131	11,266	11,349
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	11	11	11
	生徒数	234	256	253
B・S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	196,190	55,143	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	空調設備整備事業	38,947			
	2019	屋内消火栓設備改修工事	16,555			
	2015	校舎北棟他1校屋上防水改修工事	10,238			
	2013	校舎南棟外壁改修工事	11,030			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	15-140	北浜東部中学校	生活		0.9	
	15-081	北浜小学校	生活		1.6	
	15-083	北浜北小学校	生活		1.8	
	15-139	北浜中学校	生活		1.9	
	15-082	北浜南小学校	生活		1.9	
その他の分類	08-069	北浜東幼稚園	生活		0.0	
	07-065	たつのこクラブ	生活		0.0	
	13-068	新堀団地	地域		0.2	
	05-021	サンライフ浜北	地域		0.8	
	05-022	浜北武道館	地域		0.9	
	14-087	北浜東部分団美蘭	コミュニティ		0.9	
	05-043	高園ゲートボール場あずまや	小規模等		1.2	
	13-066	高畑団地	地域		1.2	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	15-074	施設コード	02636	所管課	本庁	学校教育部教育施設課		
	施設名	北浜東小学校			所管課	施設	学校教育部教育施設課		
	人員数	正規職員(人)	16	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	夢と希望を持ち続ける子どもの育成							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		学校教育法(昭和22年法律第26号)第38条、第49条の規定に基づき、小学校を設置している。							
		主な業務内容	小学校教育						
		主な利用者	入学している児童・教職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	地域の児童が通う小学校としてニーズがある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域の児童が通う小学校として必要。						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築44年が経過し、老朽化により施設・設備の改修・更新頻度も大きい。							
	対応策	浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、的確な工事手法により長寿命化を図る。地域の教育施設として適切な維持管理を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	○	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	・整備に際しては、民間の技術力や知見の導入による整備の効率化や事業費の縮小化を図っていく。 ・民間施設を利用したプールの在り方について検討を実施。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	29,841	28,833	30,206	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	学校の児童生徒数は総じて減少傾向にある中、「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づき、望ましい教育環境の実現の観点から、小中学校の統廃合を進めてきました。また、安全確保のため、すべての小中学校における耐震化工事を実施しました。今後も引き続き、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら学校規模の適正化を進めます。一方で、小中学校・高等学校は本市が保有するタテモノ資産全体の延床面積の約36%を占め、今後、老朽化により、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されます。このことから、小中学校については、令和2年3月に策定した「浜松市学校施設長寿命化計画」に基づき、保護者や地域住民の理解・協力を得ながら、建築年数、耐震性能ランクなどを考慮し、的確な工事手法により長寿命化などの施設整備や快適な学校環境づくりを引き続き進めます。高等学校については、施設規模が大きく、必要となる改修・更新経費も大きいことが予測されることから、計画的に施設整備や長寿命化を図っていきます。							
個別方針	1資産の見直し	浜松市学校規模適正化基本方針	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	近年児童数は若干減少傾向。日常点検や法定点検を通じ適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修を実施する。								